

製品名: Mre11 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86607**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:81 kDa; Observed MW:81 kDa

抗原情報

遺伝子名	Mre11
別名	ATLD; HNGS1; MRE11A; MRE11B
遺伝子 ID	4361
SwissProt ID	P49959
免疫原	ヒト Mre11 の合成ペプチド

背景

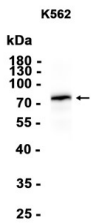
この遺伝子は、相同組換え、テロメア長維持、および DNA 二本鎖切断修復に関与する核タンパク質をコードしています。このタンパ

ク質は単独で、3'→5'エキソヌクレアーゼ活性およびエンドヌクレアーゼ活性を有します。このタンパク質は RAD50 ホモログと複合体を形成します。この複合体は DNA 末端の非相同結合に必須であり、一本鎖 DNA エンドヌクレアーゼ活性および 3'→5'エキソヌクレアーゼ活性を増強します。DNA リガーゼと共存することで、このタンパク質は in vitro において、DNA 断片末端近傍の短い相同性を利用して非相補末端の結合を促進します。この遺伝子は 3 番染色体に擬遺伝子を有しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Mre11 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して K562 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。